



校 訓 「自立」「共生」「創造」

教育目標 自ら学び 人とつながり ともに未来を創る

# 三とせの月目

「西陵中学校便り」

第10号 令和5年12月25日発行

ホームページはこちらから⇒



## 「当たり前」に感謝する

教頭 瀧口 博貴

冬になると、西陵中学校のグラウンドには、生徒玄関から斜めに150mほど真っ直ぐに伸びる雪道が出来上がります。

これは、用務員の吉田さんと光明さんが、毎日、薄暗い早朝に、除雪機を動かして作ってくれた道です。なにせグラウンドを斜めに通過しますので、なかなかの距離で、雪の多い日に重たい除雪機を動かすのは一苦勞です。

道が作られてから一時間くらい経つと、生徒の皆さんが元気よく登校してきますが、その時にはもう吉田さんと光明さんの姿はありません。

生徒の皆さんにとっては、毎朝「当たり前」に出来ている道ですが、人知れず皆さんのために、汗を流して下さっている方がいるのです。

私は高校時代、実家のあった市外の町から小樽まで電車で1時間半以上かけて通っていました。毎朝5時過ぎに目覚まし時計が鳴りますが、起き切れず、母に起こしてもらったこともありました。その上、母は毎朝4時半に起きて、弁当を作ってくれていました。身支度が整っても、駅まで徒歩で20分ほどかかったので、特に冬は父が駅まで車を出してくれました。

しかし、私は、高校生活の忙しい日々を追われ、父と母にしてもらっていることが「当たり前」になり、思春期の真ただ中で、どこか気恥ずかしい気持ちも手伝って、「ありがとう」の一言が言えない毎日でした。

一昨年、父が病気で他界しました。コロナ禍でなかなか面会が許されず、最期の最期まで「あのときは『ありがとう』」と、思いを伝えることは叶いませんでした。そのことを、私は今でも後悔しています。

人間だれしも一人で生きていくことはできません。

家族、友人、学校の先生、地域の方々など、周りの人たちの助けがあって、今の自分があることをつい忘れてしまいがちです。

「当たり前」にご飯が食べられること、「当たり前」友達と会話ができること、「当たり前」授業を受けられること、、、。

日常生活にはたくさんの「当たり前」で満ちています。

些細なことに感謝の気持ちを持ち、そして、それを言葉で表現すること。

今日はクリスマスです。あなたは何回『ありがとう』を言えましたか？

## 【連絡・お知らせ掲示板】

### 各種コンクール表彰

本校生徒がコンクール等で多数表彰されていますので、お知らせします。

- 第51回中学生作文コンクール  
特選 北海道放送賞 増村 ○○ さん  
入選 平山 ○○ さん
- 中学生の「税についての作文」  
小樽間税会 会長賞 大川 ○○ さん
- 第73回社会を明るくする運動作文コンテスト  
小樽市推進委員会 入賞 築瀬 ○○ さん
- 第42回全国中学生人権作文コンテスト  
小樽地区大会 入選 木村 ○○ さん

### 小樽市小中学校書写展

期 日 令和6年1月5日(金)～8日(月・祝)  
時 間 10:00～17:00  
※1月8日(月・祝)は15:00まで  
場 所 市立小樽美術館 市民ギャラリー  
(色内1丁目9-5)

### 制服改定に向けて

本校では、令和7年度に制服を改定することといたしました。公募の結果、下記の方々に委員を委嘱させていただきます。

学校運営協議会委員	齋藤 ○○ 様
稲穂小学校PTA	江頭 ○○ 様
稲穂小学校PTA	古山 ○○ 様
稲穂小学校PTA	岸田 ○○ 様
西陵中学校PTA	石川 ○○ 様
西陵中学校PTA	平山 ○○ 様
西陵中学校PTA	小林 ○○ 様
西陵中学校教職員	吉岡智尋校長、瀧口博貴教頭 高橋宏行教諭、播磨香織教諭

### (1月のスクールカウンセラー勤務日)

1/16(火) 10:00～15:30

相談を希望する場合は、事前に学校に電話連絡して、時間調整をしていただくよう、お願いいたします。

### 学校閉庁日

12月29日～1月3日は「学校閉庁日」です。本校職員は出勤していません。電話も時間外アナウンスとなっていますので、ご了承ください。

1 月

各教科の授業予定

	1 年生	2 年生	3 年生
国語	7 価値を見いだす 8 自分を見つめる	7 価値を語る 8 表現を見つめる	7 価値を生み出す 8 未来へ向かって
社会	歴史的分野 第3章 中世の日本と世界	歴史的分野 第5章 日本の近代化と国際社会	公民的分野 第6章 国際社会に生きる私たち
数学	6章 空間図形	5章 三角形と四角形	7章 三平方の定理 8章 標本調査
理科	身のまわりの現象 3章 力の世界 大地の変化 1章 火をふく大地	電気の世界 2章 電流の性質	地球と宇宙 2章 月と金星の見え方 3章 宇宙の広がり 地球と私たちの未来のために 1章 自然のなかの生物
音楽	日本の民謡 歌い継ごう日本の歌	「アイーダから」 歌舞伎に親しもう	仲間とともに表情豊かに合唱しよう
美術	木と親しむ暮らし	環境と共に生きる彫刻	季節感のある暮らしを楽しむ 明かりが作る空間
保体	〔実技〕 ・スキー ・マット運動 〔保健〕 ・心身の発達と心の健康	<体育> ・スキー ・跳び箱 <保健> ・健康な生活と疾病の予防	<体育> ・バレーボール ・バスケットボール <保健> ・健康な生活と疾病の予防
技家	<技術> 2編1章 生物育成の技術の原理・法則と仕組み <家庭> 日本の食文化と和食の調理調理実習 計画と振り返り	<技術> 3編2章 エネルギー変換の技術による問題解決 <家庭> 私たちの消費生活と環境	<技術> 4編3章 計測・制御のプログラミングによる問題解決 <家庭> 幼児のおもちゃ(絵本交流)
英語	Pro.8 The Year-End Events St 5 絵や写真を英語で表現しよう	Pro.7 A Gateway to Japan Steps4 相手にわかりやすい説明をしよう	Pro.7 Is AI a Friend or an Enemy? R2 Malala's Voice for the Future. WW5 オリンピック競技、パラリンピック競技
道徳	遵法精神 公正、公平、社会正義	生命の尊さ 郷土の伝統と文化	自主・自律・自由と責任